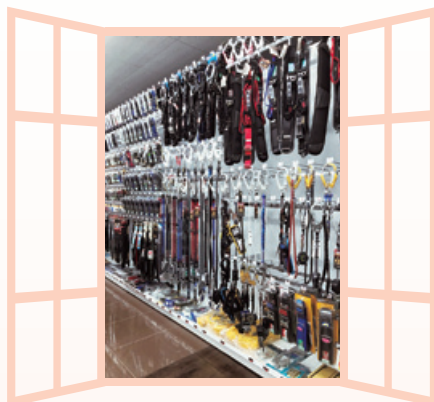




証券コード：8208



第57期 中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

株式会社 **インチョー**

株主の皆様へ



取締役社長

遠藤 健夫

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに当社グループの第57期中間期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申しあげます。

業績の概要

当中間期における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調で推移したものの、消費者の根強い節約志向や海外での地政学的リスクの高まりなど、依然として不透明な状況が続きました。

ホームセンター業界におきましては、市場規模が横ばいで推移する中、異業種やネット通販など販路多様化による競争激化もあり、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、地域の人々の快適な住まい・暮らしをサポートする企業グループを目指し、「売上の拡大」「粗利益率改善」「商品在庫の適正化」の3つの方針を掲げ取り組みを加速するとともに、お客様への買物サービスの向上、新たな顧客層の取り込みに注力しました。

店舗につきましては、平成29年5月、静岡県駿河区に「ハードストック静岡」をオープンしたのに続き、同年7月には「ジャンボエンチョー浜松南店」を増床改装しました。

「ハードストック静岡」はハードストック6店舗目として、建築工具や道具等を専門的に取り扱い、店舗の立地および規模から「コンパクトな都市型ハードウェアショップ」を標榜した新たな店舗スタイルとしております。

また、「ジャンボエンチョー浜松南店」は、増床部分となる別棟店舗に、女性を中心に支持を集める100円ショップの「ダイソー」、およびペット用品専門コーナーを展開し、新たな顧客層の取り込みを図るとともに、特定のカテゴリーを強化した個性的な店舗とするなど「売上の拡大」を図りました。

「粗利益率改善」「商品在庫の適正化」につきましては、スケールメリットを活かしたバイイングパワーの適切な活用や

仕入れ方法の見直し、商品の鮮度管理の徹底に努めたほか、発注・仕入れの改善、およびこれによる店舗作業の効率化を推進しました。

あわせて、地域特性に基づく商品展開や新商品の迅速な投入、基本業務の徹底など定番商品の活性化策を継続するとともに、収集した情報と売場との乖離の要因を検証し、品揃えや陳列方法の改善を図るなど店舗力の強化に努めました。

さらに、顧客囲い込み戦略として本年6月から「エンチョーカード」のポイント加算を100円につき2ポイントに変更したほか、「eポイントカード」とのWポイント制への変更を実施しました。また、最大2,000円分のお買物券がプレゼントされる「エンチョーカード新規入会キャンペーン」を本年8月から実施し、取扱高の拡大に取り組みました。

以上の結果、当中間期の売上高は19,510百万円(前年同期比98.0%)、経常利益は229百万円(前年同期比104.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は140百万円(前年同期比108.8%)となりました。

今後の見通し

今後の経済動向につきましては、景気は引き続き緩やかに回復していくことが期待されるものの、海外経済の不確実性や消費者の生活防衛意識の高まりなど、依然として厳しい状況が続くものと思われます。

このような状況下で当社グループは、厳しい環境の中でも持続的な成長を実現し、地域のお客様に必要とされる企業として存続していくため、地域特性やお客様のライフスタイルの変化に対応すべく旗艦店を中心に店舗改装を進めるほか、成長分野と位置付ける「ハードストック」の積極的な出店促進、および既存店舗から「ハードストック」への用途変更も検討してまいります。

また、「粗利益率改善」につきましては、引き続き定番商品の活性化策の推進により粗利益率の向上を図るほか、チラシなど販促計画の効率的な実施により利益額の確保にも取り組み、収益構造の改善を図ってまいります。また、お客様のニーズと商品動向を注視し商品在庫の最適化を進めてまいります。

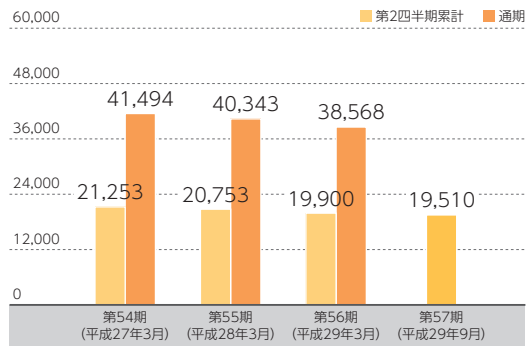
なお、本年10月1日を効力発生日として、経営の効率化を図る目的で当社子会社の株式会社ブロスを吸収合併しました。

また、11月には「ホームアシスト清水駒越店」に大型インテリアショップをテナントとして導入するなど店舗改装を実施しました。

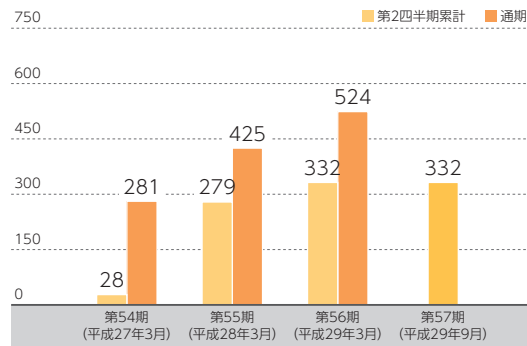
株主様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

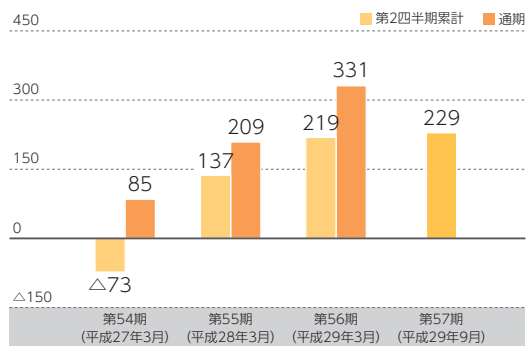
売上高 (単位:百万円)



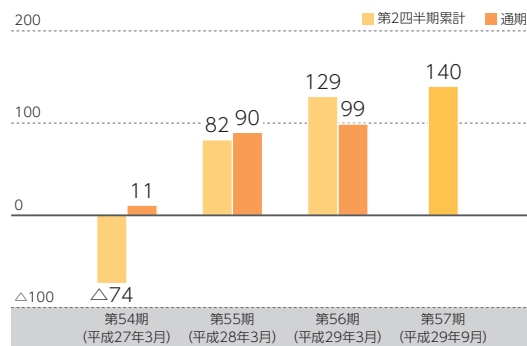
営業利益 (単位:百万円)



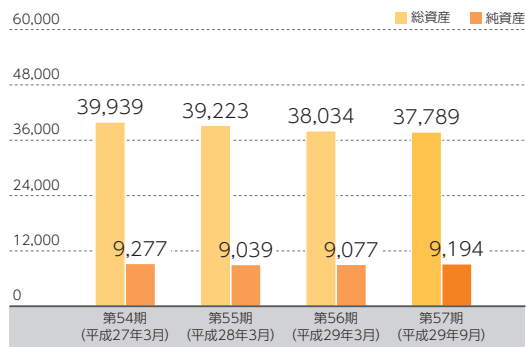
経常利益 (単位:百万円)



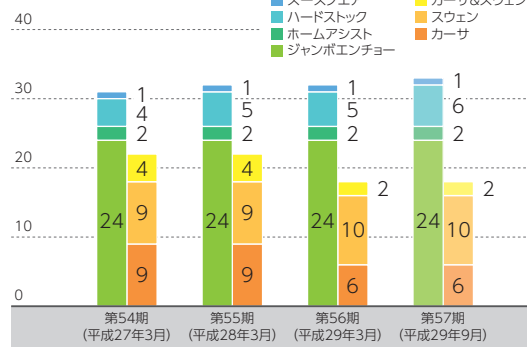
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



総資産・純資産 (単位:百万円)



店舗数 (単位:店)



事業別の概況

ホームセンター事業

■ 売上高
176 億 19 百万円
 前年同期比 **98.4%**



■ DIY用品 ■

■ 売上高 **110 億 10 百万円** 前年同期比 **98.7%**

木材、住宅設備関連では、品揃えの見直しにより、縁台やトイレ用品が売上を伸ばした一方、フローア材や網戸は伸び悩みました。

エクステリア、園芸用品関連では、外構工事の減少により、セメント等の基本資材が苦戦した一方、日よけ等のデコレーション、園芸機械や薬品は売上増となりました。

塗料、工具関連では、天候不順による塗料の販売減や昨年の熊本地震による防災用品の反動減がみられたものの、高圧洗浄機や工場扇等の電動工具は売上増となりました。

ペット用品関連では、売場構成の見直しや生体の催事企画により、アクア用品は好調に推移した一方、犬猫フードの販売は伸び悩みました。

■ 家庭用品 ■

■ 売上高 **58 億 04 百万円** 前年同期比 **98.5%**

日用品、雑貨関連では、夏場のキッチン季節品や住居ワックスが売上を伸ばした一方、酒税法の改正による酒類は販売が減少しました。

インテリア、収納用品関連では、陳列方法を見直したイグサ敷物やクッション、寝具等の布製品が伸長したほか、新規取扱商品の完成品家具や薄型収納家具も健闘しました。

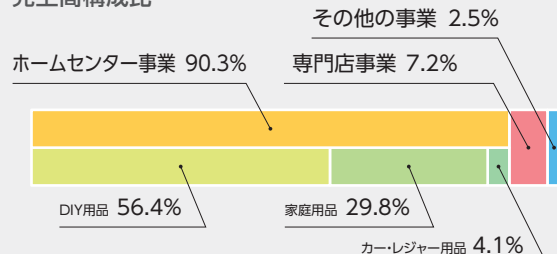
電気用品、文具用品関連では、LED照明や冷房用品、デスク収納用品は売上増となったものの、懐中電灯等の管球や筆記用具は売上減となりました。

■ カー・レジャー用品 ■

■ 売上高 **8 億 03 百万円** 前年同期比 **94.2%**

カー・レジャー用品関連では、若年層や高齢層向け品揃えを拡大した自転車販売が売上を伸ばした一方、オイル等のカー用品や介護用品は伸び悩みました。

売上高構成比



専門店事業

■ 売上高
14 億 10 百万円
 前年同期比 **93.5%**



専門店事業では、前期に開設した通販サイトや店頭催事が奏功しキャンプ用品を中心にスウェン部門の売上増に寄与しました。一方、カーサ部門は、会員限定セール等の企画を実施したものの、前期にカーサ等4店舗を閉店した影響もあり売上は減少しました。

その他の事業

■ 売上高
4 億 81 百万円
 前年同期比 **99.6%**



その他の事業には、木材およびDIY関連商品の卸売事業、ソフトウェアの開発・販売事業、ショッピングセンターの運営管理およびビルメンテナンス業務の受託事業等が含まれておりますが、ソフトウェアの開発・販売事業を除き売上減となりました。

連結財務諸表(要旨)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 平成29年9月30日現在	前期末 平成29年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	13,305	13,254
固定資産	24,483	24,779
資産合計	37,789	38,034
(負債の部)		
流動負債	16,205	15,972
固定負債	12,389	12,984
負債合計	28,594	28,956
(純資産の部)		
株主資本	9,042	8,970
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,720	2,648
自己株式	△16	△16
その他の包括利益累計額	152	107
純資産合計	9,194	9,077
負債純資産合計	37,789	38,034

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで	前第2四半期累計 平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,038	1,515
投資活動による キャッシュ・フロー	0	△362
財務活動による キャッシュ・フロー	△714	△1,184
現金及び現金同等物に係る 換算差額	0	△1
現金及び現金同等物の 増減額	324	△33
現金及び現金同等物の 期首残高	2,187	2,259
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,512	2,226

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで	前第2四半期累計 平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで
売上高	19,510	19,900
売上原価	13,813	14,142
売上総利益	5,697	5,758
営業収入	583	569
営業総利益	6,280	6,327
販売費及び一般管理費	5,947	5,995
営業利益	332	332
営業外収益	37	45
営業外費用	140	158
経常利益	229	219
特別損失	10	18
税金等調整前四半期純利益	219	200
法人税、住民税及び事業税	85	91
法人税等調整額	△6	△19
四半期純利益	140	129
親会社株主に帰属する四半期純利益	140	129

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

Point

連結貸借対照表

- 商品が303百万円、前払費用が134百万円減少した一方、現金及び預金が324百万円、受取手形及び売掛金が123百万円増加し、「流動資産」は51百万円増加しました。また、建物及び構築物が147百万円、リース資産が64百万円、長期貸付金が42百万円、繰延税金資産が40百万円減少し、「固定資産」は296百万円減少しました。
- 短期借入金が217百万円増加し、「流動負債」は233百万円増加しました。また、長期借入金が370百万円、リース債務が134百万円、退職給付に係る負債が68百万円減少し、「固定負債」は595百万円減少しました。

連結損益計算書

- 消費者の根強い節約志向の影響もあり、売上高は389百万円減少しました。
- 利益面では、営業利益が0百万円、経常利益が10百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が11百万円それぞれ増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

- 主な要因は、税金等調整前四半期純利益219百万円、減価償却費373百万円、たな卸資産の減少額301百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

- 主な要因は、有形固定資産の取得による支出73百万円、その他の収入74百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

- 主な要因は、長短借入金の減少155百万円、リース債務の減少による支出467百万円によるものであります。

トピックス

ハードストック静岡 オープン

5月9日、静岡市駿河区に「ハードストック静岡」をオープンしました。同店は、静岡市の中心市街地に位置し、ジャンボエンチョー静岡店の商圈とも重なることから、都市型ハードウェアショップのモデル店として捉えるとともに、ジャンボエンチョー静岡店との差別化を図りました。ハードストックも6店舗となり、基幹部門として成長を拡大すべく県内を中心にドミナント化を進めてまいります。



ハードストック静岡外観

ジャンボエンチョー浜松南店 増床改装

7月5日、浜松市南区の「ジャンボエンチョー浜松南店」を増床改装しました。増床部分には、女性やファミリー層をターゲットに、100円ショップの「ダイソー」を当社直営として出店したほか、ペット用品やレジャー用品の取り扱いを拡大しました。また、既存部分では、住まいの修繕やリメイクに役立つDIY用品を拡充するなど、お客様のニーズに応じた売場構成としました。



ジャンボエンチョー浜松南店外観

エンチョーカードのポイント特典

「エンチョーカード」のポイント特典が6月から変わりました。ポイントの付与基準が100円につき1ポイントから2ポイントに変更されたほか、「eポイントカード」にもポイントが貯まるWポイントサービスとなりました。なお、「エンチョーカード」は500ポイント貯まると500円お買物券と交換でき、「eポイントカード」は200ポイント貯まると200円クーポンがレジで発行されます。



エンチョーカードとeポイントカード

エンチョー夏まつり

子供たちにDIYに触れていただく機会として「エンチョー夏まつり」を7月22日から8月26日まで、全26店舗で開催しました。のこぎりなどの道具を使って工作にチャレンジする「みんなで工作教室」やアクリル板で写真立を作成する「アクリルフォトスタンド作り」、スタンプを3つ集めて景品がもらえる「店内スタンプラリー」など多彩なイベントを通じ、楽しい一日を過ごしていただきました。



工作に取り組む参加者(ジャンボエンチョー富士店)

コインランドリーの設置

当子会社の(株)ジェイ・イー・サービスでは6月30日、ジャンボエンチョー豊橋神野店にコインランドリーの「速乾工房」を設置しました。洗濯乾燥機4台と乾燥機7台を備え24時間稼働します。また、9月9日には、ジャンボエンチョー浜松南店にも「速乾工房」を設置しました。

コインランドリーの「速乾工房」
(ジャンボエンチョー豊橋神野店)



マガジンラック製作



7月16日、ワークピア磐田において第203回定例会が行われ、参加者15名がマガジンラックの製作に挑戦しました。木板に墨付けを行った後、ジグソーを使って木板の上部を曲線カットし、棚板を組み付けます。その後塗装、飾り付けを施して作品を完成させました。協力して製作を進める中で会員同士の親交も生まれ、参加者は楽しい時間を過ごされていました。

DIY女子倶楽部の参加者



多肉植物のハンギング仕立て



6月16日、若杉幼稚園父母の会様からのご依頼で「多肉植物のハンギング仕立て」講習会を静岡市で開催しました。参加者38名は素焼きの鉢に専用の土を使って4種類の多肉植物を植え付けた後、ハンギング用の杉板を装飾して作品を完成させました。最後に参加者は社員講師から水やりなど管理方法の説明を受け、多肉植物の育成方法について学んでいただきました。

多肉植物の植え付けを行う参加者



ホームセンター事業

静岡県 東部

ジャンボエンチョー富士店
ジャンボエンチョー沼津店
ジャンボエンチョー富士西店
ジャンボエンチョー富士宮店
ジャンボエンチョー御殿場店
ホームアシスト
ハードストック沼津

静岡県 中部

ジャンボエンチョー静岡店
ジャンボエンチョー相良店
ジャンボエンチョー清水店
ジャンボエンチョー藤枝店
ジャンボエンチョー清水鳥坂店
ジャンボエンチョー下川原店
ジャンボエンチョー島田店
ホームアシスト清水駒越店
ハードストック焼津
ハードストック吉田
ハードストック静岡(平成29年5月9日開店)

静岡県 西部

ジャンボエンチョー掛川店
ジャンボエンチョー浜松店
ジャンボエンチョー浜松南店
ジャンボエンチョー菊川店
ジャンボエンチョー湖西店
ジャンボエンチョー磐田店
ジャンボエンチョーきらりタウン浜北店
ハードストック浜松
ハードストック浜松早出

愛知県

ジャンボエンチョー鳴海店
ジャンボエンチョー蟹江店
ジャンボエンチョー高蔵寺店
ジャンボエンチョー岡崎店
ジャンボエンチョー豊橋神野店

専門店事業

神奈川県

カーサ アピタ長津田店
カーサ リコ ボーノ相模大野店

静岡県 東部

カーサ駿東店
カーサ富士店
カーサ アピタ富士吉原店
スウェン三島店

スウェン クロスガーデン富士中央店
スウェン イオンモール富士宮店

静岡県 中部

カーサ ベイドリーム清水店
スウェン清水店
カーサ&スウェン島田店

静岡県 西部

スウェン浜松店
スウェン袋井店
カーサ&スウェン イオンモール浜松市野店

愛知県

スウェン エアポートウォーク名古屋店
スウェン ヒルズウォーク徳重店
スウェン ラグーナ蒲郡店
スウェン ナディアパーク栄店

ショッピングセンター

静岡県

ベイドリーム清水

会社の概要

商号……株式会社エンチョー(ENCHO CO.,LTD)
設立……昭和37年7月19日
本店……静岡県富士市中央町二丁目12番12号(〒417-0052)
資本金……29億295万円
従業員数……482名(連結) 412名(単体) 出向者、準社員、パート
タイマー等を除く
事業目的……DIY用品(園芸、木材、エクステリア、塗料、工具等)、
家庭用品(日用品、インテリア、電気用品、文具等)、
レジャー用品(自転車、自転車用品、カー用品、レジャー
用品等)の販売、住宅のリフォーム請負
子会社……株式会社ジャンボ、株式会社システック、
株式会社ジェイ・イー・サービス、株式会社プロス
(注)株式会社プロスは、平成29年10月1日付で当社に吸収合併されました。

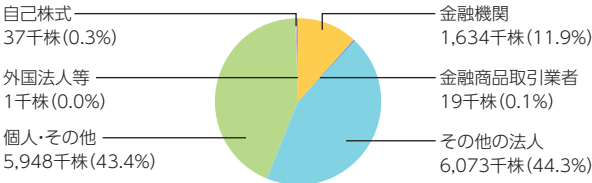
株式の状況

発行可能株式総数……24,000,000株
発行済株式の総数……13,714,995株
株主数……1,299名
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社無量寿	3,031	22.16
エンチョー共栄会	2,152	15.73
すてきなイスグループ株式会社	1,235	9.03
株式会社三井住友銀行	666	4.87
エンチョー従業員持株会	544	3.98
遠藤健夫	411	3.01
遠藤敏東	407	2.98
山種不動産株式会社	232	1.70
株式会社三菱東京UFJ銀行	182	1.33
株式会社静岡銀行	176	1.29

(注)持株比率は自己株式(37,958株)を控除して計算しております。

所有者別株式数



役員

代表取締役……遠藤健夫
取締役社長
常務取締役……長谷川英一
常務取締役……小野田智則
取締役……遠藤秀男
取締役……貫名信行
社外取締役……仁瓶眞平
常勤監査役……望月学
社外監査役……吉田龍美
社外監査役……新保昌義
執行役員……佐野憲作
執行役員……中村晴隆

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(通話料無料)
郵送先 〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.encho.co.jp/ir/ectaison.html>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

- (ご注意)
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
 - 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。